

六月に入ったのに、梅雨にのならず、春でもなく。

微妙な陽気が続いている。

そんな中、公園の奥まった一角は、夏勝りの人の熱気が漂っていた。

黄色いテープが張られ、何人もの制服警官が一目見ようと集まった野次馬たちが中に入らないようにと体をはっている。

黄色いテープの内側にいるのは、警視庁の刑事たちだ。

「どんな様子だ？西田」

35前後の男が26の若い男・西田に聞いた。

「どうもこうも無いっすよ...今井先輩」と答え西田は鼻にシワを寄せる。

その時、クラクションを派手に響かせ黒塗りのベンツがエンジン音を轟かせ黄色いテープから入ってきた。

「もしかして仏はヤクザ関係ですかね？」西田が隣に立つ今井に言う。

今井も慎重に頷いた。

だが、車から出てきた2人の顔を見た瞬間、今井に表情は激変する。

「...ゲ」

「先輩？どうしたんすか？」

不快そうな顔を歪める今井の顔を除き込んで西田は聞いた。

「お前...あの2人を知らないのか？」

「あの2人って...」

と車から降りてきた方に西田は視線を向けた。

助手席から降り立ったのはストレートの黒髪を肩口まで伸ばし、目を覗く事の出来ないサングラスを掛けている女性。

年齢は20代といった所だろうか。

黒の女性用スツットの胸元をガツポリと開け、ダイヤかなんだかの着いたネックレスをしている。

時序進入了六月，既不是梅雨季節，春天也早已過了。

空氣中持續瀰漫著微妙的熱氣。

但是在公園深處的一角，有著比夏季熱氣更加炎熱的一群人。

拉起了黃色警戒線，好幾個穿制服的警察，在警戒線前阻擋那些想來看一眼熱鬧的人群。

警戒線裡面，是警視廳的刑警們。

「西田，現在是什麼情況！」

一位35歲前後的男子開口詢問26歲的年輕男子西田。

「實在沒看過這樣的情況...今井前輩」

西田皺起眉頭這樣回答。

就在這時候，一輛黑色賓士車，大聲按著喇叭，轟的開進了警戒線裡。

「死者是黑道嗎？」

西田對站在旁邊的今井說著。

今井也慎重的點了頭。

但是，當一看到從車子下來兩人的臉時，今井的表情瞬間變了。

「...唉」

「前輩，怎麼了？」

不理會今井看起來不太開心的表情，西田問道。

「你...不知道那兩個人是誰嗎？」

「那兩個人是...」

西田把視線移向從車子下來的兩人。

從司機旁座位下來的，是位年齡大約二十來歲，有著及肩黑色長髮、戴著一副黑到看不見眼睛的墨鏡的女性。

黑色套裝的前襟大大敞開，脖子上戴著的看來是條鑽石項鍊。

チラチラと見える指先には赤いマニキュアが目立つ。

運転席から降りたのは黒のストライプの入ったスーツをビシッと決め、着いている。

少し長めの髪を、オールバックにし、こちらにもサングラスを掛けていた。

2人の姿はまるで映画のワンシーンのようだ。

まじまじと見た西田だが、やはり見覚えはない。

だが…。

「なんか雰囲気のある人たちスね…」

本心から西田はそう洩らした。

そんな西田に今井は

「知ってるか？刑事部特別捜査課…」

「はい、今年度に入って出来た新設の部署ッスよね？今は試験的に活動してるとか」

西田は警視庁内で聞いた噂のままを今井に話した。

それを今井はフンッと鼻で笑う。

「まだまだ、だな。」

ありゃ、試験的なんかじゃ無い。もう軌道に乗ってしっかりと活動してる。それに彼処の呼び名はな…」

「呼び名？」

「ああ“異国”だ…」

「異国…」

眩いた西田は車から降りてきた女性を見た。

「あれは異国の変人。橘紀香だ」

「異国の変人？なんスカソレ」

訝しげに西田は今井を見たが、今井の顔は至って真面目だ。

しかも大真面目。

「まだ若いからな…1年くらい捜査一課にいたが、その頃から一部の間で変人と呼ばれていた。」

指尖擦著非常醒目的紅色指甲油。

由司機座位下來的的女性，則穿件黑色直條套裝。

稍長的頭髮從後綁起，同樣也戴著副墨鏡。

兩個人的模樣就像是電影的場景一般。

不過就算是這麼目不轉睛的盯著看了，西田對這兩個人還是沒有任何印象。

「真是有個性的人啊…」

西田發自內心的說著。

對於這樣的西田，金井開口：

「知道嗎？刑事部特別捜査課…」

「知道，今年新設的一個部門對吧？現在正試驗性的進行工作之類的。」

西田將在警視廳所聽到的謠言轉述給金井。

金井對這個回答哼的笑了一下。

「你真的是還不行啊！

那個，並不是試驗喔！都已經上軌道正式開始工作了，而且那裡被戲稱…」

「戲稱…？」

「是啊！外國…」

「外國…」

西田邊嘟濃邊看著從車子下來的的女性。

「那個就是外國來的怪人。橘紀香」

「外國來的怪人，那是什麼？」

不可置信的西田看了一下金井，不過金井的表情是認真的。

而且還是非常的認真。

「因為實在太年輕了啦…在捜査一課一年左右，那時候就有一些人稱她怪人了。」